

ご注意ください!!

美祿警察署より

自然災害に便乗した悪質商法の例

過去の台風、地震などの災害時に、それに便乗した悪質商法や義援金詐欺が多数発生していると国民生活センターが注意を呼びかけています。

本県においても、7月21日、防府市・山口市において豪雨災害が発生しており、悪質な便乗商法等の発生が十分考えられます。

被災者が、今度は、悪質な商法の被害に遭うことのないよう、また、この種商法は、災害発生地域だけ狙われるとは限りません。

以下、悪質商法等の例を紹介しますので、悪質商法の被害にはかからないようにしてください。おかしいなと思われたら警察署へ相談してください。

便乗商法の例

- 「当社と被災家屋の修理契約をすれば、行政から補助金が出ます」などと虚偽の勧誘を行い、壊れた住宅の床や壁、屋根の修理契約を勧誘する。
- 「ボランティアで、損傷した屋根にブルーシートを掛けている」と言って訪問し、その後、「応急処置が必要な箇所がある」「ブルーシートを掛けるより、今すぐ補修をした方がよい」等と不安をあおり契約を急がせる。
- 公的機関ではないのに、公的機関を思わせる名称で「家屋の耐震診断をします」等のチラシ広告を配付して勧誘する。
- 「清掃にきました」「何か困っていることはありませんか」等と、公的機関を装ったり、無料で行うサービスのように近づき、後に法外な料金を請求する。
- 「災害後の点検」と言って電力会社等を名乗って訪問し、災害による破損の修理と称して高額な料金を請求する。
- 被災後の住宅を訪問し、「雨よけ」のブルーシートを掛けた後、修理工事を勧誘する。断ると、「ブルーシート代」の名目で高額な料金を請求する。
- 「被災地に送るためにボランティアで古い布団を集めている」と訪問し、布団を寄付した人に、「いい布団なのでもったいない。打ち直しをした方がよい」と高額な布団のリフォームを勧誘する。

義援金詐欺の例

- 日本赤十字社や中央共同募金会の名をかたり、担当者個人と称する銀行口座に義援金を振り込む依頼のハガキや電子メールを送り付ける。
- 公的機関を思わせる名称を用いて、自宅を訪問したり、ハガキを送るなどして義援金名目のお金を求める。

保証金詐欺の例

- 「家屋の補修費、当面の生活費などを貸し出すので、返済保証金を入金してくれ」と保証金名目で入金させ、貸し出しを実行しない。

問合せ先 美祿警察署 (☎0837-520110)

病院だより 20

美祿市立美東病院

内科部長

山下 裕章



今回は昨年結婚され、仕事に・家庭に充実した生活をおくっておられる内科部長の山下裕章医師に、インタビューを行います。聞き手は事務部の井上です。

井上 夜間当直の時に恐縮ですが、先生が医師を目指そうとされたきっかけは何ですか。

山下 小学生の頃の友人の父親が歯科医をしており、職場の皆から厚い信頼と尊敬の念を集めているところに憧れを覚え、自分も医療への道を目指すようになりました。

井上 研修生時代は厳しかったですか。

山下 平成11年に山口大学病院第一内科で1年間、翌年愛媛労災病院で1年間研修を受けました。とにかく一日でも早く実践で役に立つようにと、指導医や先輩医師はもちろん、ときには他科の医師にも熱烈な指導を受け、診断・治療に関する医学知識や、内視鏡を中心とした検査の技術を徹底的に叩き込まれました。睡眠時間もほとんど取れないような毎日で大変でしたが、今ではそこで得た経験が大きな財産となっています。

井上 先生の専門は膵臓などですが、どのような診療をされていますか。

山下 専門領域は消化器、その中でも特に「胆・膵」ですが、主な疾患としては膵がん、胆嚢がん、胆管がんといった悪性腫瘍や、胆嚢炎、胆管炎、総胆管結石、膵炎などがあります。胆膵領域の悪性腫瘍は体の中心に近い場所に存在するためアクセスが難しく、早期診断・治療が困難な場合があります。そのため、そのための内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）、超音波内視鏡など

の複雑な検査が必要となりますが、当院でも行うことができます。

井上 先生に内視鏡検査を行ってもらった職員からは、先生の内視鏡検査のスピードが非常に速いということをお聞きしましたが。

山下 内視鏡検査では嘔気を伴い、患者さんの負担も大きいため、嘔吐反射を減らす工夫や、挿入時間の短縮に努め、患者さんの苦痛を減らすように心がけています。また経鼻内視鏡を使用することで更に負担が減ります。内視鏡検査はその1回の検査よりも、その後も継続して定期検査を受けることが重要で、何度でも受けてもらえるよう努めています。

井上 先生が診察で気をつけていらっしゃることは何ですか。

山下 病態を把握するため様々な検査を行うことが多いですが、その結果を十分に理解してもらえよう、わかりやすく説明します。また内科疾患にとらわれず、全身を診るように心がけています。

井上 委員会が多く、忙しいと思いませんか。

山下 病院では医療の質を高めるため様々な委員会があ

りますが、今問題となっている「新型インフルエンザ」やMRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）、ノロウイルスなどの病原菌が、病院内で感染拡大を防止する院内感染対策委員会、

病気の治療の標準化を行うクリティカルパス委員会、臨床検査をより正確に、的確にまた安全に行うための検査室委員会のと

りまとめをしています。

井上 今後の抱負について伺います。

山下 美東病院で求められていることは、全てにおいて幅広く対応することです。医療発展に伴い、細分化された専門医療ばかりが注視されていますが、高度な専門医療を必要としないことの方が多く、特に高齢者は複数の病気を抱えるため、総合的な判断を必要とし、治療もバランスよく行わなければなりません。総合診療と専門医療の両立を目



経鼻内視鏡検査中の山下内科部長

指し、消化器疾患に関しては、基幹病院と同等の治療が行えるようにやっていきたいと考えています。

インタビューの途中に、救急患者さんからの電話がありました。丁寧に対応されている先生の姿を間近にし、改めて先生の親切・丁寧な人柄に感銘しました。今後の益々の活躍を期待しています。

問合せ先 美祿市立美東病院

(☎0839620515)